



岡本敦生作「時空のはじまり」

Vol.58

平成 24 年 12 月

佐倉そめい野緑地ニュース

発行人 佐倉染井野緑地協定運営委員会

平成24年度第三回の緑地ニュース(Vol.58)をお届けします。

今回のニュース内容は次の通りです。

1. 平成 24 年度樹木管理講習会の報告
2. 平成 24 年度住まいのまちなみコンクール(住宅生産振興財団主催)現地審査会の報告
3. 運営委員会各班からの報告

1. 樹木管理講習会の報告。

去る、9月30日(日)、えのき公園に於いて、今年度の樹木管理講習会を開催いたしました。

当初予定の23日が雨天の為延期となったものですが、住民の皆様、約50名が参加され、10時00分～11時30分まで、志津ガーデン・林農社の方々を講師としての講習会となりました。

講習会の内容は、以下の通りで実施されました。

- 1) 樹木の剪定・刈込みの実技および説明(志津ガーデン、林農社、2グループに別れて実施)
- 2) 肥料の仕込みと施肥の仕方の実技および説明(志津ガーデン)
- 3) 薬剤散布・薬の効果などの説明(林農社)
- 4) 質問コーナー

皆さんメモを取りながら熱心に説明を受けていました。



◆講習会の中で、2点のアドバイスが役に立つと思われましたので、お伝えします。

・樹木剪定の際、外側の葉の部分ばかりを、切っている方が多く見られるが、内部の幹から伸びた枝を切つて間引くことで、風通しを良くすることが樹木の健康に大切です。風通しを良くすることで、虫の寄生防止と、背の高い樹木は強い風の影響を受けにくくなり、毎年台風の影響で樹木が倒れる連絡を頂くが、強風での倒木被害も防げるとのことでした。

- ・樹木剪定の時は、先ず、てっぺんの高さを、希望の高さに切ってから、裾や脇を剪定して形を整えるとバランス良くできる。

◆講習会後の感想。

日頃、適当に剪定等していましたが、参考になるものがありました。

また、講習中にもいろいろ質問がされており、皆さん熱心に聞かれておりました。

今後も皆様の意見を反映させた講習会を開催し、一人でも多くの方々に関心を持って頂ければ幸いです。

2. 平成24年度住まいのまちなみコンクール現地審査会の報告

緑地ニュースVol.57で、お知らせしましたが、住宅生産振興財団が主催する、住まいのまちなみコンクールに、そめい野緑地協定運営委員会として応募を行いました。

この現地審査会が11月11日(日)に行われ、財団の方々、国土交通省の方、及び以下の審査員の先生方が視察に訪れました。

- ・藤本昌也氏【審査委員長】(前日本建築士会連合会会長)
- ・上山良子氏(長岡造形大学名誉教授 [元学長])
- ・大月敏夫氏(東京大学准教授)
- ・森まゆみ氏(作家、地域誌編集者)

視察については、インフォメーションセンタから、みかげ坂まで、質問を交えながら1時間を掛け徒歩でゆっくりと一周し、染井野のまちなみを視察されました。

その後インフォメーションセンターにて、委員会からのプレゼンテーションと、審査員からのヒヤリングに答えるなど、1時間30分に亘り行われました。ヒヤリングには、佐倉市公園緑地課の職員、染井野建築協定準備委員会からも3名の方々にもご参加いただき、質問に答えるなどして頂きました。



各審査員の方々から、以下の感想と、今後の課題、提案等をいただきましたので、今後の活動の参考にさせて頂くこととしました。

- ・このようなコンクールに緑地協定運営委員会がエントリーする例は過去に無いそうです。生活基盤にあわせた土地利用計画やバランスのとれた各道路の配置等がとても良いこと、豊かな緑地帯が確保維持されていること、そして住民主体でその緑地管理に意欲的に取り組んでいること等を大変賞賛して頂きました。
- ・街住民主体の NPO 団体等を立上げ、住民主体の管理をしたり、次世代に向けて、子供たちへ樹木を大切に育てたり、必要性を伝えていくこと。
- ・これから進む、住民高齢化に対する十分な対策。
- ・幅広い世代が安心して暮らせて、美しい景観を誇りに思える街づくりを一層目指すこと。

- ・遺産相続などに伴った、宅地の分割化への懸念とその対策。
 - ・今後、何十年に亘りまちなみを維持管理するに当たって、緑地管理のコンセプトを正確に継続させていく工夫。
 - ・染井野ブランドとして、大林組が作成した染井野ロゴの使用権許可を得ること。
 - ・住民による染井野緑地の歩みをまとめた冊子の作成と発行。
- ※コンクールの入選発表は、来年1月に予定されております。
- なお、今回のコンクール応募には、コミュニティーデザインの浅川様の協力を得て行われています。

3. 各班からの活動報告

1) プロジェクト班(植替申請)

今年度で2年目になるシンボルツリー・生垣等の植替え申請実績を、お知らせします。

期間は平成24年4月～11月までの状況(作業中案件含む)。

【植栽変更申請件数】……8件(シンボルツリー2件、生垣6件)

■シンボルツリー

- ・樹種:コブシ→ヤマボウシ、ナンキンハゼ→エゴノキ
- ・状況:生育不良で樹木全体が枯れ死、又は生育が旺盛で過繁茂・樹高の大型化したシンボルツリーの樹種変更等の申請があった。

■生垣

- ・樹種:サザンカー→ヒラギモクセイ又は同樹種、レッドロビン→キンメツゲ・ウバメガシ又は同樹種、ヒラドツツジ→同樹種)
- ・状況:植栽の環境(土壌、風通し、日あたり等)が悪く、生育不良又は黒点病が発生し樹木が枯れ死状態であった。

——お願い——

植替え申請手続きは、申請書提出後補助金の振り込みまで約2カ月余かかりますので申請提出はお早めをお願いします。

2) プロジェクト班(建築協定)

建築協定の会合への定期的参加を行なっている。

次年度の緑地協定委員会の組織の中に、建築協定運営委員会も組み込まれる組織案が採用される予定で進んでいます。

3) 総務班

会議録作成、会員リストの修正、管理をおこなっています。

各種申請書一式をまとめ、一元管理できるよう、インフォメーションセンタに常時置きました。

今年度の会員の増減については、現時点で、転入2軒、隣接地からの編入2軒がありました。

4) 共同管理班

共同管理部分の林農社、志津ガーデンとの剪定・刈込み・薬剤散布についての調整。

現時点での実施状況。(剪定、刈込は、対象樹種別を実施しております。)

- ・5月21日～6月7日、6月18日～7月24日(剪定、刈込、薬剤散布)
- ・9月24日～9月25日(薬剤散布)
- ・10月9日～10月27日、11月19日～12月8日(剪定、刈込)

5)会計班

転居が予定される方は、ブロック役員へご連絡下さい。

会費の口座自動引き落としを行なっている場合、事前に連絡があると助かります。

転居後に、会費が引き落とされてしまうと、後の処理が面倒になります。

6)広報

平成 24 年度は、年4回の緑地ニュース発行予定。

第1回(Vol56)6月、第2回(Vol57)9月発行済。

タイムリーな話題と、委員会の活動状況報告を行います。

----- キ リ ト リ -----

○緑地協定運営委員会へのご意見等

緑地協定運営委員会の活動に対するご意見や、ご要望をお聞かせください。樹木管理講習会への希望事項でも構いません。この用紙にご記入いただき、用紙ごと各ブロック役員へ提出してください。

(随時受付しております)

ご住所: 染井野 — —

お名前: _____

ご意見等

貴重なご意見等ありがとうございました。

いただいたご意見等については、今後の運営委員会の活動の参考とさせていただきます。

以上